



## コンピュータビジョン

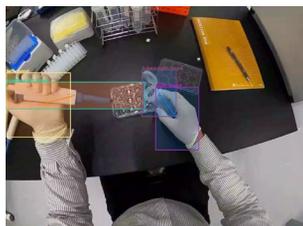
本研究室では、視覚情報からの知識獲得を扱うコンピュータビジョンを専門としています。特に、ウェアラブルカメラから得られる一人称視点映像など様々な映像をもとに、大規模視覚言語モデルや大規模マルチモーダルモデルなども活用し、人とモノ、人と人、人と環境とのインタラクションに関するさまざまな知識を獲得するための技術の研究開発に取り組んでいます。

研究室URL: <http://ut-vision.org/sato-lab/>

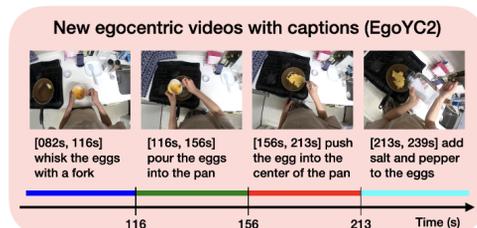
### 研究テーマの例



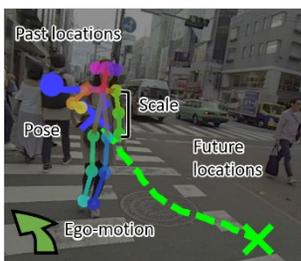
一人称視点映像からの視線推定



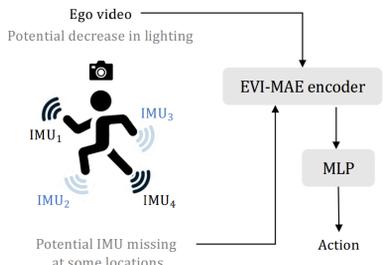
バイオ実験における作業内容の理解



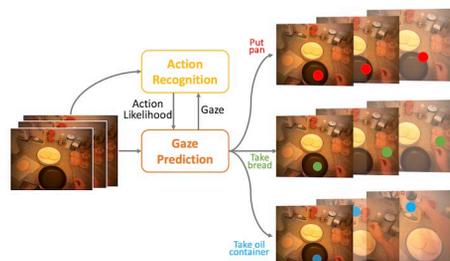
作業手順の記述生成



一人称視点映像からの周辺人物の移動予測



一人称視点映像とIMUデータからのマルチモーダル動作認識



一人称視点映像からのアクションと視線の同時推定

### 研究室での生活

- ✓ 研究室では、各自が知的好奇心に基づき、自由な発想で楽しみながら主体的に研究に取り組むことができるということを大切にしており、院生の皆さんには、研究室での活動を通して、取り組むべき問題を発見し、既存概念にとらわれることなく問題の本質を深く理解した上で解決策を見出し、説得力をもって研究成果を伝える力を身につけてもらいたいと考えています。また、国内外の研究機関とのコラボレーションも積極的に進めており、院生の海外研究機関での長期滞在も奨励・サポートしています。
- ✓ 研究室では、できるだけ計算コストなどの制限を受けることなく研究を進められるように、研究室内およびクラウド上に十分な計算リソースを確保しています。さらに、視線計測装置など各種デバイスも利用可能です。